

2016年度「地球環境学」(121800) 金曜2限 10:25-12:10 14号教室

小池俊雄教授・平林由希子准教授・川崎昭如准教授

講義の目的

地球環境問題群を様々な視点から統合的に理解し、問題発生とそのメカニズムの理解や、具体的解決に向けて必要となる基礎的事項を修得する。具体的には、地球環境問題の歴史的捉え方、政治・経済的側面、環境倫理と教育、社会的合意形成などの人文・社会科学の視点と、問題群の物理的・化学的・生物学的側面の観測・理解・シミュレーション・予測手法などの自然科学的視点を養い、これらを社会と共有するための手段として地理情報システムやデータ統合システムの利用を学び、確かな科学的根拠に基づいて社会をリードできる能力を養う。

講義項目

1. 地球環境問題の捉え方と統合的な取組みの重要性(4/8)：小池教授
2. 地球環境問題の国際的枠組みと科学技術の役割(4/15)：川崎准教授
3. 地球環境問題の政治学アプローチ(4/22)：小池教授
4. 地球環境問題の経済学的アプローチ(5/13)：小池教授
5. 地球環境問題の社会学・教育学のアプローチ(5/20)：小池教授
6. 地球環境問題の地球システム科学のアプローチ(5/27)：小池教授
7. 人間活動が引き起こす地球規模環境問題－地球温暖化－(6/3) 小池教授
8. データ統合と地理情報システム(6/10,17)：川崎准教授
9. 人間活動が引き起こす地球規模環境問題－オゾン層の破壊－(6/24) 小池教授
10. 人間活動が引き起こす地球規模環境問題－消滅するアラル海－(7/1) 小池教授
11. 地球環境のシミュレーションと予測(7/8,15) 平林准教授
12. 期末試験(7/22)

理解すべき事項

地球システム科学，気候システム，地球温暖化，オゾン層破壊，地球観測システム，環境と社会，環境倫理，環境教育，合意形成，地理情報システム(GIS)，地球環境モデリング，地球規模課題対応

講義メモ

http://aqua.t.u-tokyo.ac.jp/REEL/lecture_note/

アカウント：Earth2016 パスワード：Earth2016

関連する講義

事後履修：環境復元学（大学院）

参考書：岩波講座地球惑星科学：第2巻「地球システム科学」，第3巻「地球環境論」
新しい環境経済学，D.W.ピアス他，和田憲昌訳，ダイヤモンド社

成績評価

期末試験（持ち込み可，タイムショック形式）7月22日(金)
出席評価および short report を加える

休講 5月6日